修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

# 輝く新春を迎う

## 信頼と協調の精神

文部大臣　永井道雄

永井文部大臣

昭和五十一年の新春を迎え、国民の皆様と共に新春をお喜び申し上げます。

私は文部大臣に就任以来、教育が政争を離れた静かな場において論議されることを念願し、国民の民主主義に対する信頼と協調の精神を基本として、広く国民の合意の上に文教政策を進めるよう努力してまいりました。

就任以来二度目の春を迎えるに当たり、改めて私自身の努力のあとを省み、責任の重大さを痛感しております。

私は児童・生徒が知・徳・体の調和のとれた発達を遂げ、心身ともに健全な国民としての資質を養うようにするためには、小・中・高等学校を通じて、教育内容を思いきって精選し、児童・生徒がゆとりを持って、しかも充実した学校生活を送り、自ら考え自ら能力を切り拓いていく態度をしっかり身につけさせるようにすることが肝要であると考えております。このような観点から、目下、教育課程審議会に審議をお願いしているところでありますが、先き頃、中間まとめが発表され、さらに今秋には答申が行われる予定でありますので、この答申を得て、教育内容の改善を図ってまいりたいと考えております。

教育の成果をあげるためには、教育界に優れた人材を得て、教員が意欲を持って教育に専念しうるような条件の整備を図ることが何よりも重要であります。このため一昨年成立したいわゆる人材確保法に基づき、教員の給与についてすでに二度にわたりその計画的改善を行ってきたところでありますが本年は第三次の給与改善として、引き続き全教員の給与改善を図るとともに、主任や教育経験の豊かな優れた教員の待遇改善などに努力していく覚悟であります。

以上のほか幼稚園教育の普及、特殊教育の振興、学校給食の改善充実、文教施設の整備など、いずれも国民の要請に応えるべく一層の努力を傾けていく所存であります。

高度成長路線から福祉社会建設への転換の方策としてライフサイクルが計画されていますが教育文化の分野においても、すべての人々が生涯の各時期において適切な機会を持つことができるようになることが望まれております。こうした中にあって、これからの社会教育は、学校教育および家庭教育との連携を強化し、幼児期から高齢期に至る生涯の各時期において展開される必要があります。また生活内容の質的充実や自由時間の増大などの生活様式や生活環境の変化により、国民の芸術文化やスポーツに対する欲求が高まりつつあります。

このような観点から、私は社会教育や体育・スポーツ、芸術文化のために必要な施設の整備、指導者の養成確保、関係事業の奨励援助など、諸条件の整備充実に積極的に取り組んでまいる所存であります。

また、わが国が世界に誇る貴重な文化遺産を適切に保存し、広くその活用を図るとともに、これらの伝統的文化を継承しつつ新しい文化を創り出すことは、われわれの重要な課題であります。このため、各種の芸術文化活動の促進を図るとともに、昨年大幅に改正された文化財保護法の趣旨に沿って文化財保護の一層の充実強化を図ってまいる覚悟です。

今日、国際的な場においては、近い将来における世界的な資源の窮乏とその対応策について種々の議論があります。このような中で資源に恵まれないわが国が今後とも発展していくためには、学術・研究の振興と教育・学術・文化の国際協力の推進を図ることがぜひとも必要であります。

以上、文教行政の当面する課題についての所感の一端を述べ、国民の皆様の深いご理解とご協力を切にお願いいたしまして新年のごあいさつといたします。

## 安全輸送を目標に

日本国有鉄道総裁　藤井松太郎

藤井国鉄総裁

新年おめでとうございます。

昨年は国鉄にとって、まさに激動の年であり、今後の国鉄の基本方向を決定づけると思われる財政問題・ストライキ権問題・新幹線騒音問題などが提起された年でありました。とくにストライキ権問題につきましては、一部組合の違法な争議行為によって、国民の皆さまに多大のご迷惑をおかけしましたことを心からおわびいたします。国鉄はできうる限りの努力をして、それぞれの問題に対処してまいりましたが、国の施策との関係もあり、まだまだ難問が残されております。

今年も多難な年になるかと思われますが、私はこれを乗り切ることが、新生国鉄への道につながるものと信じ、なお一層の努力を続ける覚悟であります。

私ども輸送業務に携わる者にとって最大の使命は、いうまでもなく安全の確保ということであります。昨年は新幹線が博多までのび東京・博多間一、一〇〇キロが七時間たらずで結ばれ、日本の新しい大動脈として活躍しておりますが十年の経験から得た技術を駆使しその安全性には十分配慮をいたしました。

さらに今年は、より安全な新幹線をめざして、東京・新大阪間につきましても、大規模な機材の更新工事を行うことにいたしました。また、在来線についても東北本線などにおいてレール更換工事を行うなど、安全のためには惜しみない努力を払ってまいりました。これからも安全対策の深度化を図り事故防止に万全を期していきたいと決意しております。

健全な国鉄を子孫に残し、国鉄が将来とも国民の足として働き続けるためには、財政基盤の確立が必要なことはいうまでもありません。国鉄は国の基幹的輸送機関であるとの自覚を新たにし、国民の批判には真摯にこたえ、職員全員が一丸となってサービスの向上につとめたいと思っております。

## 勇気と自信をもって

財団法人　全国修学旅行研究協会
理事長　山本種一

一九七六年の新春を迎え年頭のご挨拶を申しあげます。

ことしは二十世紀最後の四半世紀がはじまる意味で、新出発の年であります。

—冬来りなば春遠からじ。

ことしこそ、石油危機以来の視界ゼロといわれる暗いトンネルを抜け出て、前途に明るいきざしを見出したいと心から念願するものであります。

わたしたちは人それぞれの立場から、この国民の課題に向かって、何らかの具体的なことで前進しなければならない責務があるのではないでしょうか。

全修協は、歴史的に重要なこの年に、創立二十周年という一線をこえた、いよいよ新たな年度の第一歩を踏みだすのでありますが、まことに意義深いことと考えているしだいです。

高度成長経済が終り、その後二年にわたるゼロ成長、インフレと不況の併進という悪条件下にもかかわらず、その中にあって協会事業が順調に推移進展し今日の躍進にひきつがれておりますことは、改めて意を強うするものであります。

とくに、教職員研修旅行の参加希望者の数が年間を通じて一万名の域に近づいてまいりましたことは、ひとえに関係各位のご尽力によるところであり、また、修学旅行の指導力を高め教育者としての資質を自己開発しようとする全国の教職員各位の自覚のあらわれとして、私の大いに敬意を表し、喜びとするところであります。

「旅行」が単なる快楽のための消費でなく、人間の根強い生活意識にもとづく行動様式として定着し、余暇時間は文明の進歩のためにあり、好不況をこえた本質的なものであるとするのは、近来、社会学者の唱えるところであります。われわれもこうした事実に着目して、教育と旅行と文化の問題を究明し、意識的に行動化してまいりたいと存じます。

すなわち、修学旅行の教育性安全性、経済性の角度から研究し、条件整備の諸事業を洗い直し人間性ゆたかな児童生徒がこの国土学習によって育ち、生涯の自己開発の基礎となるよう、修学旅行・研修旅行の「質」を高め「量」を拡げる運動を、勇気と自信をもって進めたいと考えます。

新しい年のはじめにあたり、所信の一端をのべ、一層のご鞭撻をお願い申しあげるしだいであります。

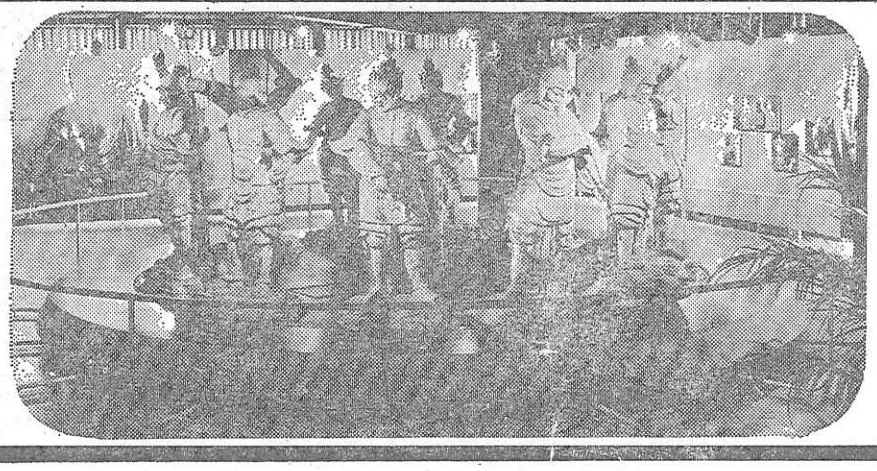
## 風紋

NHKの大河ドラマ元禄太平記の終りのシーンに、柳沢兵庫（竹脇無我）が、うつろな心を抱いて「旅」に出るところがあった▼ドラマの筋書きとしては、登場の主要人物に、切腹とか暗転とか、それぞれ結着をつけるが、兵庫を旅に送りだして、サラリと結んだのは月並みの手法だが、角度をかえてみると味わいがあると思った▼柳沢吉保と赤穂浪士の間にあって、叔父の骨肉の情にそむき、堀部安兵衛との友情から仇討ちを助け、そのため愛人おときの若い生命を散らしてしまう▼兵庫は、仇討ちに湧く江戸の巷の興奮の中にあって、いま自分は何であるのか問い直し、内面から見つめるため漂然と旅に出るのであった。彼を救うものは「旅」であり、新しい人間として兵庫を再生させるのも「旅」であったのだろう▼日本の時代劇のヒーローたちは、よく旅をする。水戸黄門、宮本武蔵、源義経、弥次喜多、木枯紋次郎、机竜之助など、これは西部劇と同じようにある種の「旅」の劇でもある▼西部劇のばあいは西部への旅こそはアメリカ発展の原動力であり、日本の時代劇のヒーローたちの旅の人気は、身分制度に縛られた中世近世の日本人の、自由を求めるエネルギーであり、それが国民感情の基礎となっているのだとも言われるが、そうかもしれない▼映画や芝居に登場する劇中人物の「旅もの」に拍手をおくっている民衆は自らもよく旅をする。この正月を海外で迎えた日本人はざっと十四万人、そのほとんどが三十歳までの若者たちだそうだ▼この人達が元禄太平記の兵庫のように、新しい自己形成の旅に出たのかどうかは知らないが、ふだんの生活で見失っている自分を内面から見つめ直す思索の機会としてほしいものだ▼一九七六年、人それぞれの新しい人生の旅路がはじまる。日々を旅と心得て、新しい自分をつくりたいものである。

昭和51年　あけまして　おめでとう　ございます　1976年

大和路のすべてがひと目でわかる
奈良歴史教室
（近鉄奈良駅ビル内）

古墳・古建築・仏像などの模型や写真パネル・スライドで、大和路の歴史と観光見どころをダイジェストに展示し楽しく解説。縄文・弥生の昔から今日までの移り変りがひと目でわかる楽しい展示館です。
入場料…100円　こども50円
団体は割引(25人以上)…50円　こども30円
営業時間…平日10時～18時
（月曜休館）
お問合せ…近鉄奈良駅ビル内
奈良歴史教室
〒630 奈良市東向中町28
☎(0742)24—3901



自然の中の心の休日
近鉄

# 新春を迎えて

昭和五十一年の新春にあたり全修協広報部では役員、支部長、友誼協力機関などの各位から年頭の辞をいただきました。本年は全修協創立二十周年、いずれも寿ぎの言葉に加えて運動推進の決意が述べられております。お寄せくださいました各位にあつくお礼を申しあげます。紙面の都合で次号にも掲載いたしますのでご了承ください。なお掲載は順不同です。（広報部）

## 自覚と責任と

村田　正実

明けましておめでとうございます。旧年中はたいへんお世話さまになり厚くお礼申しあげます。

不況下の物価高という厳しい情勢の下に迎える新春、身のしまる思いがします。本年は全修協二十周年に当ります。成人としての自覚と責任の重さを痛感し、初心にかえってがんばりたい年です。（全修協・熊本県支部長）

## 限りない前進

漆原　実

明けましておめでとうございます。

昭和五十一年の輝やかしい新春をお祝い申しあげるとともに、全修協が着実に発展を続け、ここに創立二十周年を迎えられたことを心から寿ぎ、重ね重ねご祝詞申しあげます。

意義ある全修協活動の限りない前進のために山本理事長はじめ役職員、各都道府県支部の皆さまのご健勝を切に祈りいたします。微力でありますが、香川県支部としましても本年は精いっぱい努力をいたしますので何卒よろしくお願い申しあげます。（全修協・香川県支部）

## さらに躍進を

岡田憲一郎

一九七六年の新春、そして全修協二十周年の記念すべき年を迎えるに当り心から慶祝の意を表します。

山本理事長の卓越した指導力と全国同志諸君の団結で全修協の教育界におよぼした影響は高く評価されるものでした。二十周年を契機に協会がさらに躍進されることを衷心から祈念しております。（全修協・埼玉県支部長）

## 最善の努力を

高田　治郎

新年おめでとうございます。

本年は全修協の創立二十周年に当る記念すべき年であります。この記念すべき年にこそ二十年の経験と反省の上に立って今後の運営をどうするか、真剣に取り組むべきであると思います。

この二十年を振り返えり、はたして全修協創立の趣旨が前向きの姿勢で運営されているか、十分反省すべきであると存じます。財団法人である当協会が真に独立した運営ができるのか、いやしくも他力本願的な経営は許されないはずであります。

昭和五十一年の新春を迎えてわれわれ経営の責任を分担するものは、前向きで最善の努力をすべきだと考えます。（全修協理事・北海道支部長）

## 研修の重視へ

永井　熙

わが国の教育上、伝統的学校行事としての修学旅行をとりあげ、その改善と教育者自体の修学旅行（研修旅行）の実施を二本の柱として発足した全修協は本年で二十周年を迎えることになりました。変転きわまりない中で二十年の年輪を数え、さらにますます発展の一途をたどっておりますことは日本の教育のため、まことにご同慶にたえません。

この年輪の中には損得を越えた「友愛と信義」を基本とする同志的な固い結合が一本の筋となって今日まで続いています。これが他団体には見られない独特の姿ではないでしょうか。

二十周年の実績を基盤としさらに発展を志向するためには、この筋を通すなかで、全国教職員の要望をいかにキャッチし、いかに実現するかが全修協の課題だと信じます。

昨年実施した友好訪華の派遣はこの要望実現の第一歩として高く評価されるもので、このような企画はさらに海外に向ってますます拡大されなければなりません。それと国土視察の前段としての国土見学、国内産業・経済・文化各面にわたっての研修こそは一層重視されなければなりません。（全修協常務理事・茨城県支部長）

## 輝かしい歴史

山本　亮

明けましておめでとうございます。

本年は全修協創立二十周年。その二十年はただ歳月を重ねたというのではなく、修学旅行・研修旅行の進歩改善に尽された輝かしい発展の歴史であったことに敬意を表するとともに、さらに力強く前進されますよう心から祈念いたします。（島根県学校生活協同組合・専務理事）

## 輪をかためて

田尻　貴

あけましておめでとうございます。

昨夏は中華人民共和国の招きを受け、貴重な学習と友好の機会が与えられ、全修協としても大事業であったと思います。

本年は全修協創立二十周年の記念すべき年であります。年輪を数えてみれば感激あらたなるものがあり、なつかしさがわいてまいります。

ここでさらに全国の輪をかため発展と前進を誓いたいと思います。（全修協・宮崎県支部長）

## 20年を契機に

梅田　晶三

創立二十周年を新たな発展の契機として、全修協の組織強化と事業の充実を期待します。（社団法人・京都府教職員互助組合事務局長）

## 社会から評価

中島　欣一

新年おめでとうございます。

不況とインフレ含みのきびしい昨今ですが、子どもたちの夢多きすばらしい修学旅行づくり、また現職教員の豊かな研修の場としての研修旅行づくりに、苦しい環境のなかでよりよきものをつくりあげる努力と実績は全修協ならではのものと考えられます。

山本理事長を先頭に、この集団のもつ力と実績は、じゅうぶん社会的にも評価されていると考えられます。

各位のご健闘と栄光をお祈りして二十周年のめでたい年をたたえ限りなき前進を祈念します。（財団法人・大阪府教職員互助組合常務理事）

## 使命果たそう

露木喜一郎

全修協創立二十周年の記念すべき新春を迎え心から祝福いたします。

高度経済成長へのきびしい反省から、人間とは何かをもっと見きわめる努力が強く要請されてきています。旅は自然を求めるとともに、人間の進歩への歩みに学びながら、自らの目を開き、人間性を豊かにする上で極めて大切です。

全修協がこの役割を果しながら発展を続けておられることに心から敬意と感謝を表わすとともに、今後ますます躍進されることを念じて年頭の挨拶といたします。（全修協・神奈川県支部長）

## 深まった理論

佐々木二郎

創立二十周年の新春、おめでとうございます。

県支部結成いらい歴代の四支部長時代の事務局をつとめ、五代目の支部長として東北の南端に協会の文化事業の陥没を作ってはならないという重い責任を感じています。

この二十周年をかえりみて、数職員の研修旅行の参加は十名台から三百二十名、全国八位に伸展してきた。このPRを通して教職員の研修における全修協の理解は深まったが、全修協本来の目的である児童生徒の修学旅行についてはその任務が十分認識されたとはいえません。東北を疾走する「おもいで号」われらの修学旅行列車、快適で安全な修学旅行は「おもいで号」での合言葉が県内に充満させることこそ本年の課題でありましょう。（全修協・福島県支部長）

## 発展を期して

仙波　勉

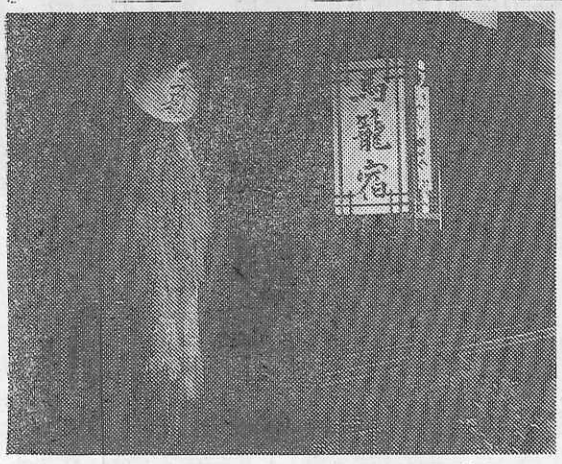
本年は全修協創立二十周年。累年の実績が確固としたものになっていることはたしかです。この間数を追い、質を求めて向上してきたように思われます。今日もまたそうです。

このあたりで、今一度、原点をみなおし、来し方をふりかえってみたいと思います。そして今日の足下を確認して発展を期する年でありたいと祈っております。（全修協・愛媛県支部長）

## 責任は大きい

魚谷時太郎

苦節二十年、全修協の苦労、ようやく実るの感、幹部の胸中察するに涙なきを禁じ得ません。この大きな業績、将来如何に発展せしめるか。全修協の実力を如何に発揮せしめるか。われわれの責任まことに重大といわねばなりません。（全修協理事・兵庫県支部長）



昨年度研修旅行写真コンクール入選作品「馬籠宿」（木曽・立山・飛騨コース）浅田茂雄氏（山口）


謹賀新年

昭和五十一年元旦

財団法人　全国修学旅行研究協会

理事長　山本種一
常務理事　白滝末紀
同　永井熙
同　村山助雄
理事　高田治郎
同　完戸一郎
同　青山良道
同　成瀬幡治
同　魚谷時太郎
監事　芦田重左衛門
同　狩野政一

本部事務局
大阪事務所
名古屋分室



充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください

ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として“修学旅行映画”シリーズを製作しております。

●修学旅行映画シリーズ

京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川

（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）

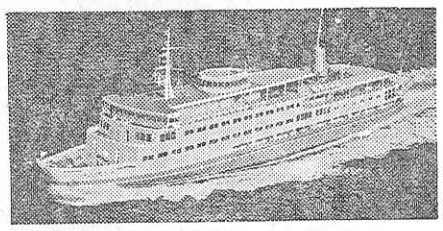
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」

近畿日本ツーリスト



KANSAI LINE

思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅



●阪神―別府航路（毎日4便）
●阪神―小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸―日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

関西汽船

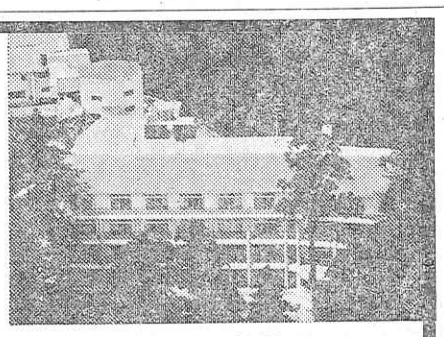
■お問合せは
大阪市港区弁天6(06)574－9161/東京都中央区八重洲1-9-9(03)281-2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所あっ旋案内所へ



修学旅行のお宿に
全館を開放

■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館
■延暦寺会館第2別館
〈収容600名様〉

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917



全国各地
小中高校
全90種
旅のしおり

■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5
（京都駅新幹線口の南西）
株式会社
教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539